

# 令和5年度 e・アンケートモニター

## 第2回アンケートNo.2 調査結果

### テーマ 「空き家対策に係る既存住宅(中古住宅)の流通促進及び 空き家の発生抑制の取組について」

#### I 調査の概要

##### 1 調査の目的

総務省「平成30年住宅土地統計調査」によると、全国の空き家は約846万戸、空き家率は13.6%であり、年々その数は増えています。山口県でも空き家の数、率ともに増加しており、空き家率は17.6%と全国平均を上回っています。

本県では、今後も増加すると予想されている空き家への対策として、既存住宅(中古住宅)の流通を促進するための施策を実施することとしております。

また、空き家の発生を抑制する取組として、“住まいの終活”の普及に取り組んでいる自治体もあり、県としても取組が必要と考えています。

この度のアンケートの結果は、今後の施策の基礎資料として使用させていただきます。

##### 2 調査実施期間

令和5年11月9日(木)～11月30日(木)

##### 3 調査対象

令和5年度e・アンケートモニター 107人

##### 4 回答状況

回答者 78人(回答率 72.9%)

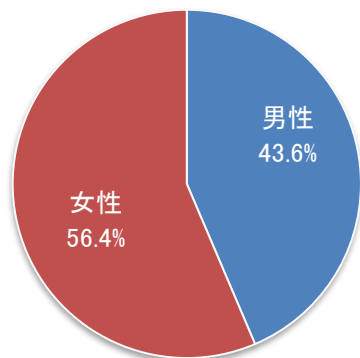
##### 5 調査担当課

山口県土木建築部住宅課

#### II

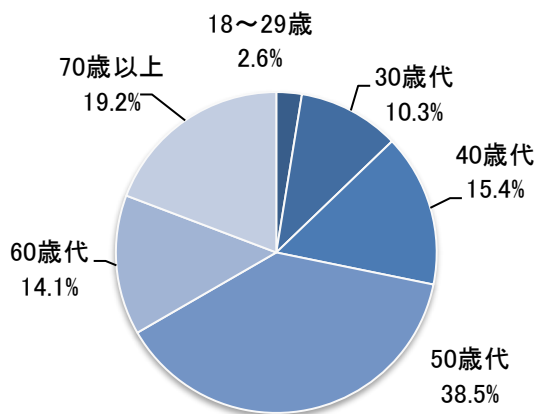
#### 回答者の属性

##### ■性別



区分	人数	%
男性	34	43.6
女性	44	56.4
計	78	100.0

##### ■年代別

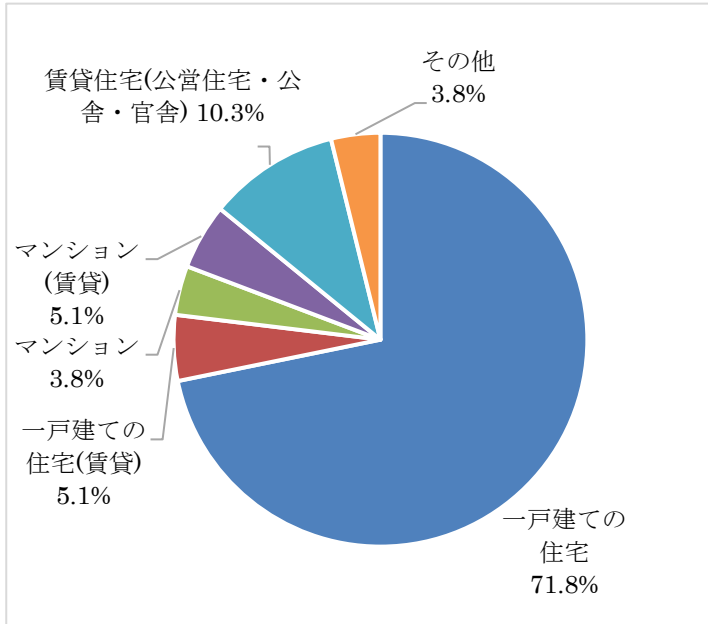


区分	人数	%
18~29歳	2	2.6
30歳代	8	10.3
40歳代	12	15.4
50歳代	30	38.5
60歳代	11	14.1
70歳以上	15	19.2
計	78	100.1

※「回答者の属性」、「調査結果」の各グラフ及び各表中に示した数値は小数点第2位を四捨五入しているため、全項目の合計が100.0%とならない場合があります。

### Ⅲ 調査結果

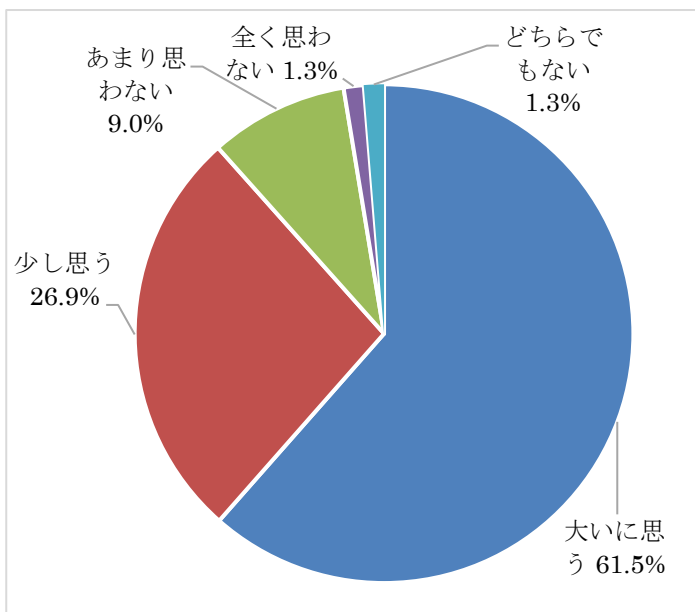
Q 1 あなたの現在住んでいる住宅の種類をお答えください。(1つのみ)



(n = 78)

選択肢	人数	%
一戸建ての住宅	56	71.8
一戸建ての住宅(賃貸)	4	5.1
マンション	3	3.8
マンション(賃貸)	4	5.1
賃貸住宅(公営・公社・官舎等)	8	10.3
その他	3	3.8
計	78	99.9

Q 2 近年、あなたの周囲において空き家が増えていると思うことがありますか。(1つのみ)

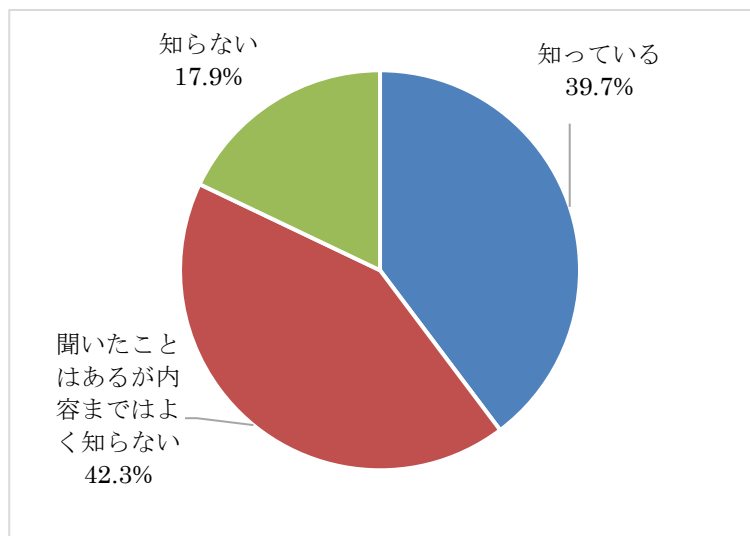


(n = 78)

選択肢	人数	%
大いに思う	48	61.5
少し思う	21	26.9
あまり思わない	7	9.0
全く思わない	1	1.3
どちらでもない	1	1.3
計	78	100.0

**Q 3** 県内の一部の市町において、住民の生活環境へ深刻な影響を及ぼす空き家の解体等する場合に、その費用の一部を補助する制度を知っていますか。(1つのみ)

(n = 78)



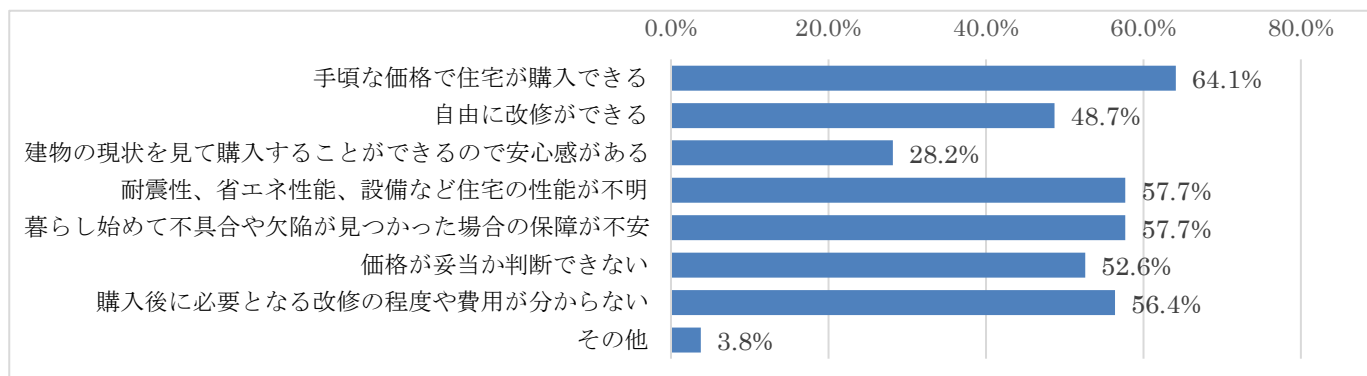
選択肢	人数	%
知っている	31	39.7
聞いたことはあるが内容まではよく知らない	33	42.3
知らない	14	17.9
計	78	99.9

**Q 4** 今後も増加すると見込まれる空き家について、どのようにすればその数を減らすことができるとお考えですか。(全角 300 字以内)

省略

【既存住宅(中古住宅)の流通促進について】

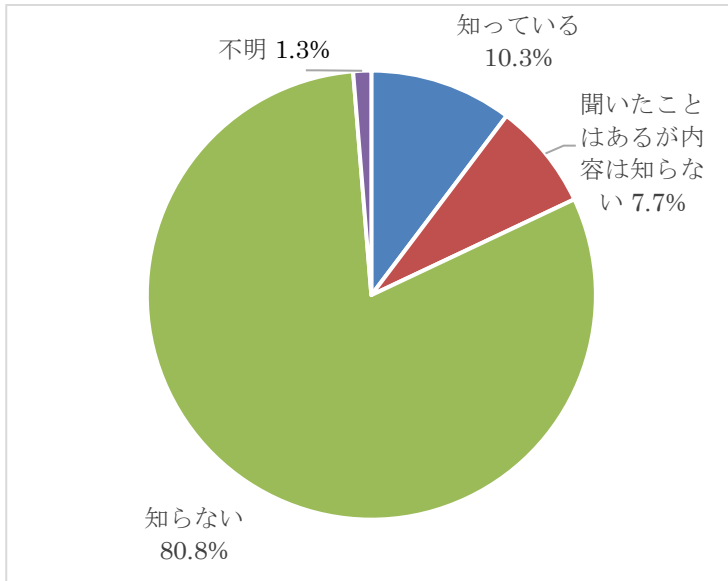
**Q 5** 既存住宅(中古住宅)に対するイメージをお答えください。(いくつでも)



(n = 78)

選択肢	人数	%
手頃な価格で住宅が購入できる	50	64.1
自由に改修(リフォーム、リノベーション)ができる	38	48.7
建物の現状をみて購入することができるので安心感がある	22	28.2
耐震性、省エネ性能、設備など住宅の性能が不明	45	57.7
暮らし始めて不具合や欠陥が見つかった場合の保証が不安	45	57.7
価格が妥当か判断できない	41	52.6
購入後に必要となる改修の程度や費用が分からない	44	56.4
その他	3	3.8

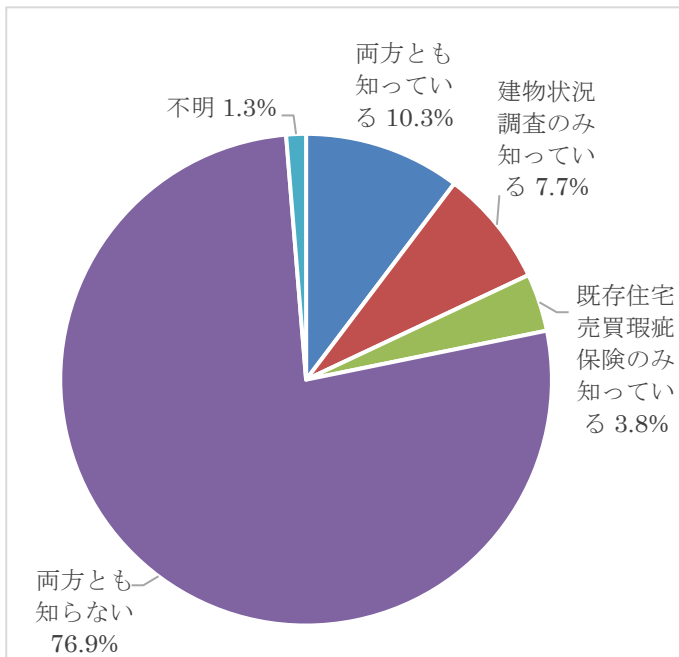
**Q 6** 既存住宅（中古住宅）売買の際に、既存住宅の売主が「建物状況調査の実施（インスペクション）」、「既存住宅売買瑕疵保険への加入」の両方を実施した場合に、その費用の一部を補助する制度を知っていますか。（1つのみ）



(n = 78)

選択肢	人数	%
知っている	8	10.3
聞いたことはあるが内容まではよく知らない	6	7.7
知らない	63	80.8
不明	1	1.3
計	78	100.1

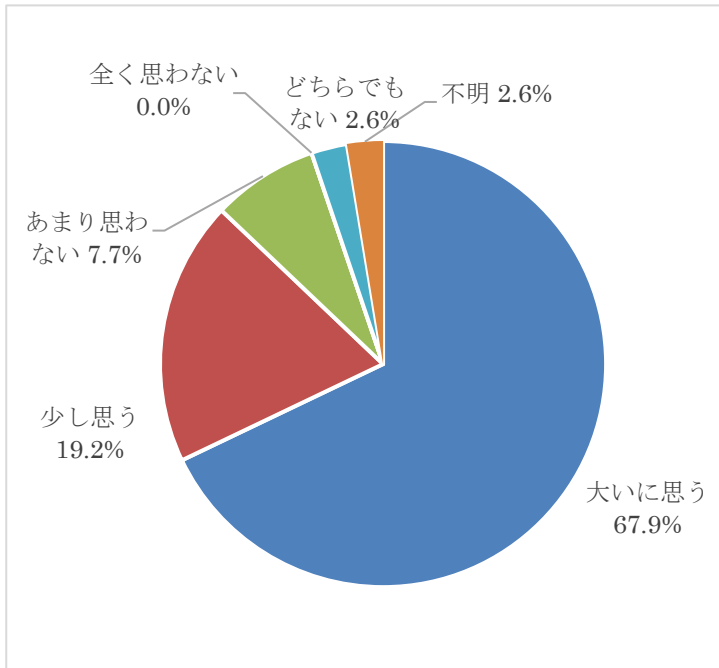
**Q 7** 「建物状況調査（インスペクション）」、「既存住宅売買瑕疵保険」について、それぞれの制度の内容を知っていますか。（1つのみ）



(n = 78)

選択肢	人数	%
両方とも知っている	8	10.3
建物状況調査のみ知っている。	6	7.7
既存住宅売買瑕疵保険のみ知っている	3	3.8
両方とも知らない	60	76.9
不明	1	1.3
計	78	100.0

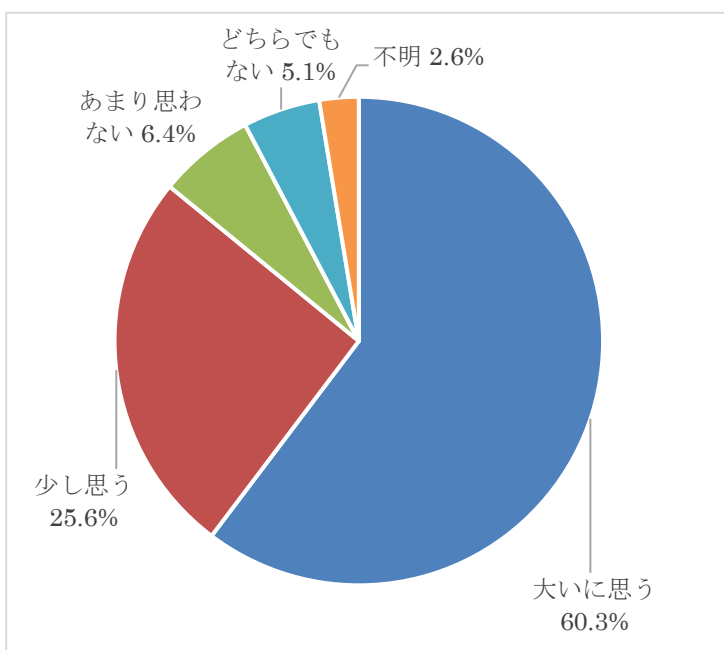
**Q 8** 既存住宅(中古住宅)を購入することになった場合、「建物状況調査(インスペクション)」を活用してみたいと思いますか。(1つのみ)



(n = 78)

選択肢	人数	%
大いに思う	53	67.9
少し思う	15	19.2
あまり思わない	6	7.7
全く思わない	0	0.0
どちらでもない	2	2.6
不明	2	2.6
計	78	100.0

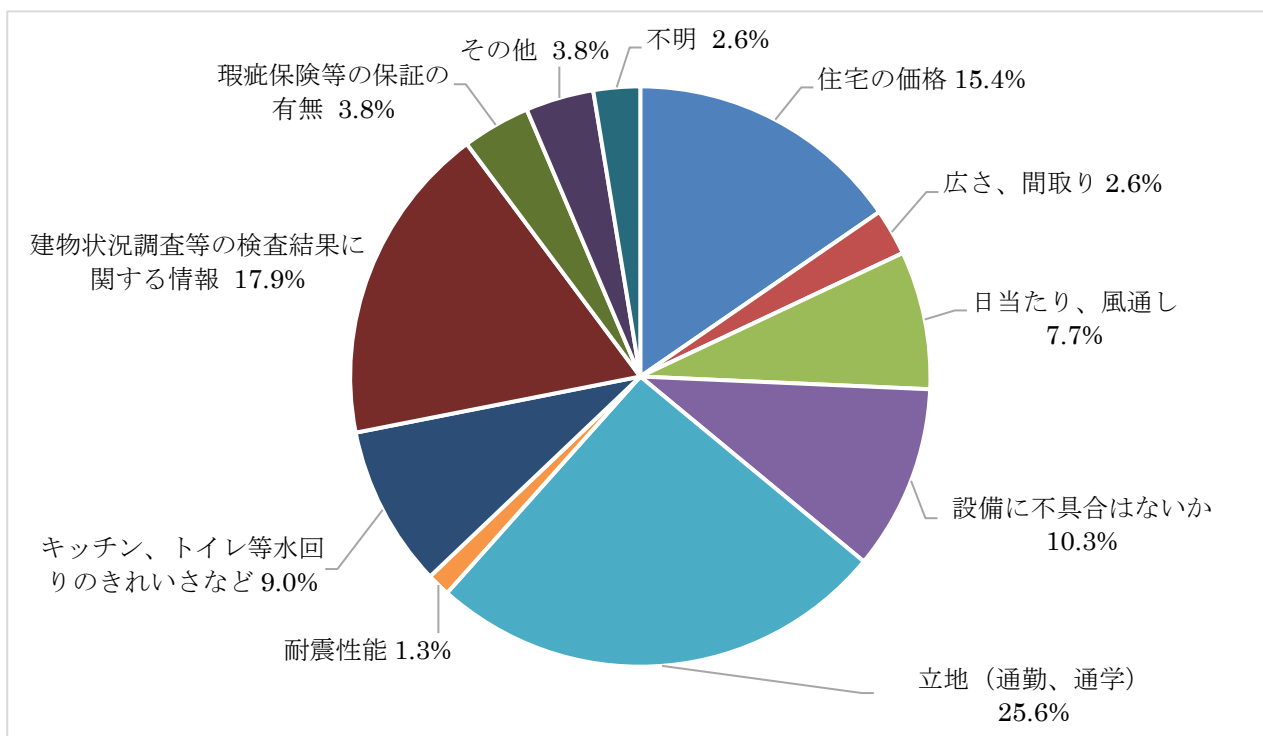
**Q 9** 既存住宅(中古住宅)を購入することになった場合、「既存住宅売買瑕疵保険」を活用してみたいと思いますか。(1つのみ)



(n = 78)

選択肢	人数	%
大いに思う	47	60.3
少し思う	20	25.6
あまり思わない	5	6.4
全く思わない	0	0.0
どちらでもない	4	5.1
不明	2	2.6
計	78	100.0

Q10 既存住宅(中古住宅)を購入することになった場合、何を重視して選びますか。  
(1つのみ)

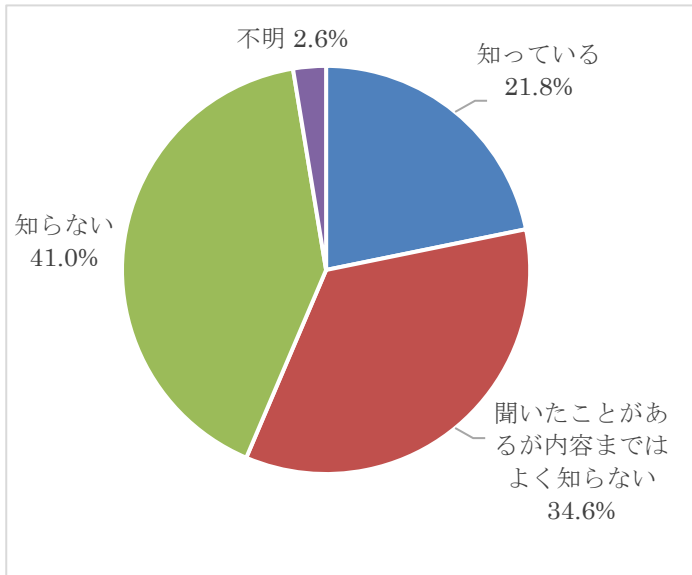


(n = 78)

選択肢	人数	%
住宅の価格	12	15.4
広さ、間取り	2	2.6
日当たり、風通し	6	7.7
設備(給排水、換気など)に不具合はないか	8	10.3
立地(通勤、通学のしやすさ)	20	25.6
耐震性能	1	1.3
キッチン、トイレ、浴室、洗面台などの水回りのきれいさ・使いやすさ	7	9.0
建物状況調査(インスペクション)等の検査結果に関する情報	14	17.9
瑕疵保険等の保証の有無	3	3.8
その他	3	3.8
不明	2	2.6
合計	78	100.0

【“住まいの終活”について】

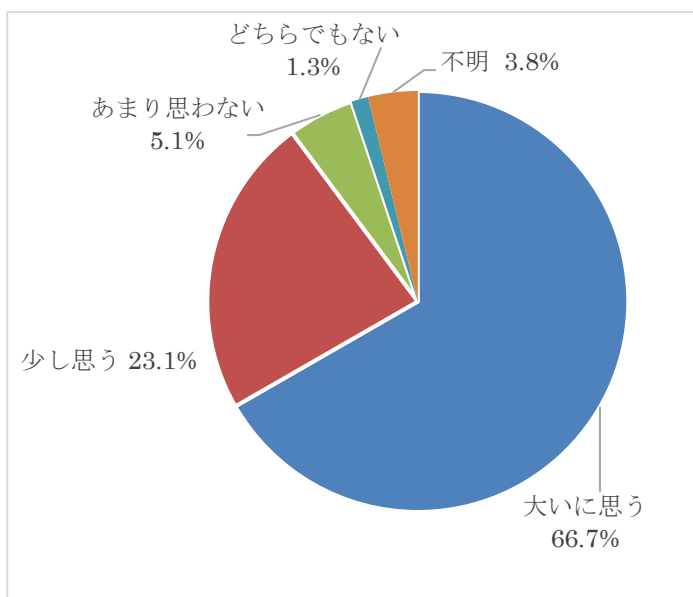
Q 1 1 “住まいの終活”とは「生前のうちに、自身が亡くなった後の自宅をどうしたいのかを考えること」をいいます。“住まいの終活を知っていますか。”（1つのみ）



(n = 78)

選択肢	人数	%
知っている	17	21.8
聞いたところがあるが内容まではよく知らない	27	34.6
知らない	32	41.0
不明	2	2.6
計	78	100.0

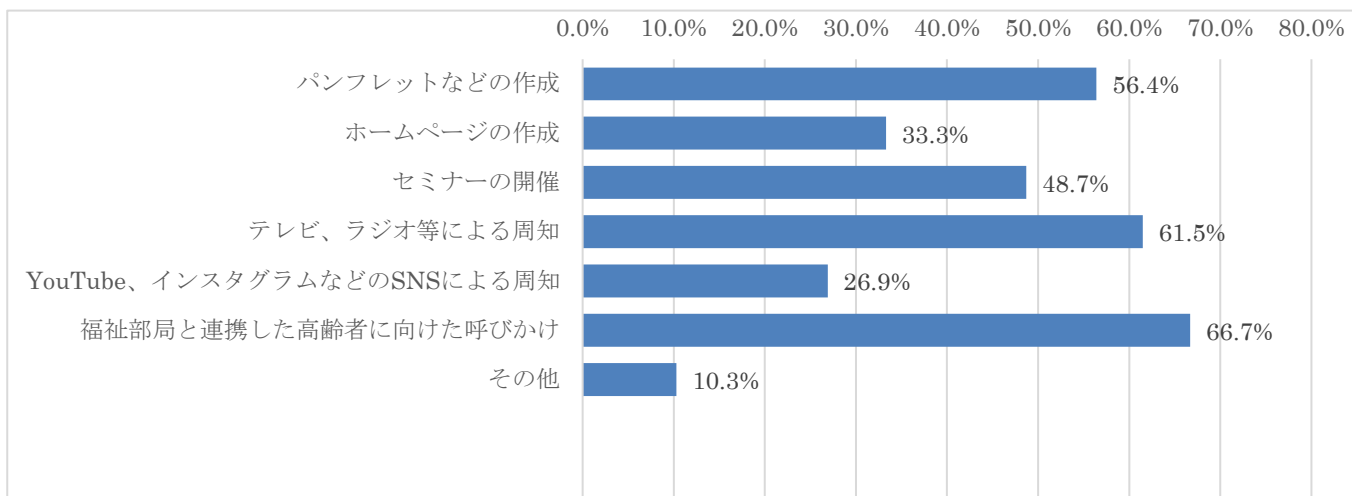
Q 1 2 “住まいの終活”を行い、自宅の今後の取扱いを決めておくことで、空き家になる可能性が低くなるといわれています。“住まいの終活”について、積極的に行うべきと思いますか。（1つのみ）



(n = 78)

選択肢	人数	%
大いに思う	52	66.7
少し思う	18	23.1
あまり思わない	4	5.1
全く思わない	0	0.0
どちらでもない	1	1.3
不明	3	3.8
計	78	100.0

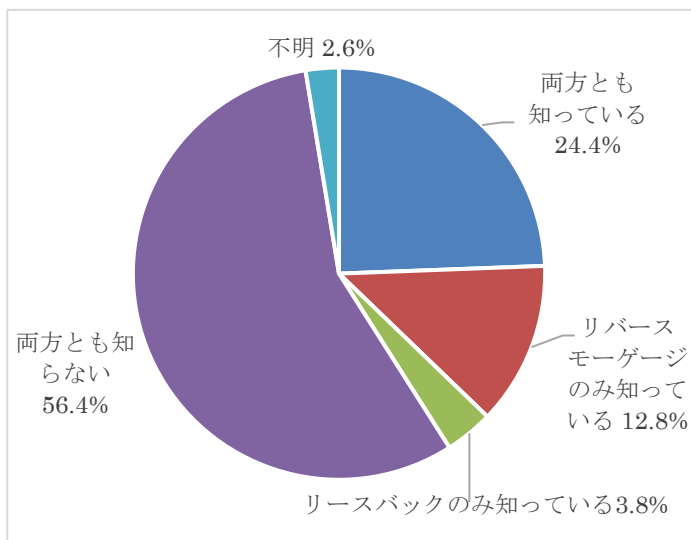
**Q 1 3** 住んでいる住宅を空き家にさせないためには、早くから家族で話し合う必要があります。“住まいの終活”の取組を普及させるため、県はどのようなことに取り組みばよいか。(いくつでも)



(n = 78)

選択肢	人数	%
パンフレットなどの作成	44	56.4
ホームページの作成	26	33.3
セミナーの開催	38	48.7
テレビ、ラジオ等による周知	48	61.5
YouTube、インスタグラムなどの SNS による周知	21	26.9
福祉部局と連携した高齢者に向けた呼びかけ	52	66.7
その他	8	10.3

**Q 1 4** 住んでいる住宅を生前に担保化・現金化し、自らの生活資金として活用する仕組みとして、リバースモーゲージやリースバックがあります。これらの仕組みを実施することにより、住宅の所有者が死後も住宅が空き家となる可能性が低くなります。このような仕組みがあることを知っていますか。(1つのみ)



(n = 78)

選択肢	人数	%
両方とも知っている	19	24.4
リースバックのみ知っている	3	3.8
リバースモーゲージのみ知っている	10	12.8
両方とも知らない	44	56.4
不明	2	2.6
計	78	100.0